

iU イノプロ×JLab JAPAN「サタデーハッカソン」 売上爆増計画ピッチコンテストの優勝チームを選出

iU（東京都墨田区、学長 中村 伊知哉。以下、iU。https://www.i-u.ac.jp/）では、2023年7月8日（土）に、「JLab JAPAN株式会社（東京都港区 代表取締役 横張 亮輔）」と連携、音響機器を展開する同社の3年後の売上10億円を達成するビジネスプランを企画・提案するハッカソンを開催し、最優秀企画を選出しました。

iUは「就職率0%・起業率100%」をテーマに、「学生全員起業」を目標とし、「ビジネス・ICT・グローバルコミュニケーション」の知識・スキルを身につけるカリキュラムを展開しております。

なかでも、本学の学びの中核となる必修科目「イノベーションプロジェクト（通称：イノプロ）」は、学生全員が起業プランを企画し、プレゼンを行うアクティブ形式の科目です。

今回の「サタデーハッカソン」は、イノプロの一環として、4年生を対象に実施、最優秀企画を選出しました。サタデーハッカソンの概要は、イノプロホームページ（iuintovation.jp）でもご覧いただけます。

■ 開催概要

● 開催日

2023年7月8日（土）

● 企画名

「カリフォルニア発イヤホンの日本進出！JLab JAPAN の売上爆増企画を立案する企画」

● イベント概要

「JLab JAPAN」の成長戦略・3ヶ年中期計画を考え、同社取締役岩本恵氏にプレゼンを行う。

● 最優秀チーム

チーム「E組のみなさん」

企画名：プログラミング教室など教育機関へJLab JAPAN のヘッドホンを利用していただく

リーダー新井貴博氏のコメント：

「実現性と差別化を意識したアイデアが功を奏し、優勝させていただくことができました。優勝まで導いてくれたのは、『E組のみなさん』のおかげです！本当にありがとうございました！」



■ JLab について

2005年米国で創業。Z世代に人気のイヤホン、ヘッドホンなど音響機器を製造・販売する。2020年Fast Company誌のイノベティブ・カンパニーの3位に選出。2021年にノーリツ鋼機が買収し、日本、アジア地区にもブランド展開している。

岩本恵取締役役のコメント：

「2日に渡り、iU1期生の4年生のみなさんからJLabの未来について鋭い視点で提案いただき、私たちも大変刺激を受けました。各チームのキックオフから議論を重ね、クラス提案、学年決勝まで、ビジネスについて熱く話し合う様子はこれまで私が見てきたiUのビジネスコンテストの中でも特に印象深く感じるほどでした。提案いただいたプランを活かしてみなさんの目に届くよう頑張ります！」

■イノプロについて

本企画に関する詳細はイノプロホームページ (<https://iuinnovation.jp/>) をご確認ください。

イノプロ Twitter、Instagram にもご登録ください。



<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

■設置概要

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：744名 ・専任教員数：28名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ビジネス×ICT×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL：03-5655-1555 E-mail：info@i-u.ac.jp